

質問事項	質問の要旨
1 原子力行政と避難訓練	<p>女川原発再稼働同意後、避難訓練はなされないまま1年が過ぎました。今後、より実効性のある避難訓練のためには、原子力災害広域避難マップや防災ハザードマップを十分に活用しながら、町民総参加型により一つひとつ問題点を明らかにしていくべきと考えます。次の点について伺います。</p> <p>(1) 特に高齢者や障がい者等の搬送、交通渋滞、バスの確保、被ばく者への対応等について検証すべきでは。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症を盛り込んだ避難訓練は最重要課題であり、国や県任せではなく、原発立地自治体として積極的に意見、要望を出していくべきと考えますが。</p> <p>(3) 以前も述べたように、複合災害時には栗原市以外の場所、県外も含めて明らかに示すよう県に働きかけながら、早めに住民に対し周知すべきでは。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>

質問事項	質問の要旨
<p>2 より利用しやすい町民バスに</p>	<p>10月から半年間、町民バスの実証試験が始まり、来年度の本格運行に向けての実証試験第二弾として町民バスガイドブックを発行するなど努力されているとは思いますが、ここ2か月の間に色々な声が聞こえてきます。確かに中心部40分おきの運行は利便性も良く喜ばれているようですが、一方で安住・針浜線利用者の多くから「病院や役場へ行くのに浦宿セブンイレブンでの乗換えは不便」「買い物で荷物が多いのにセブンイレブン前で降ろされるのはつらい。以前のように戻して欲しい。」等の声があり、役場へ直接電話し不満を述べたとも聞いています。</p> <p>中間点でアンケート調査を行い反映させる計画とのことですが、次の点について伺います。</p> <p>(1) 役場への町民の声や運転手からの報告等どのように把握していますか。</p> <p>(2) 町民アンケートの実施時期は。また、内容により一部運行内容の変更はありますか。</p> <p>(3) 離半島部を含め利用状況の少ない地区への予約型デマンドタクシーの必要性は考えていますか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>

質問事項	質問の要旨
<p>3 窓口に意見箱の設置を</p>	<p>役場に対して意見を述べたいと思っても、敷居が高く言いにくい環境にあり、せめて地域医療センターのように意見箱を設けて、真摯に町民の声に耳を傾けて欲しいとの声が聞かれます。</p> <p>また、意見への回答も掲示して欲しいとのことですが、前向きに対応すべきと思いますがいかがですか。</p> <p style="text-align: right;">(質問の相手：町長・担当課長)</p>